

## 特集【流域で取り組む治水対策】

- ◇ 流域治水の実践に向けた奈良県の取り組み  
(奈良県 県土マネジメント部 河川整備課)
- ◇ 由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策について  
(京都府 建設交通部 河川課)

## トピックス

- ◇ 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりの取組み～アユがのぼる街、高槻～  
(大阪府 都市整備部 茨木土木事務所)
- ◇ 区別防災マップのリニューアルと民間事業者と連携した市民周知について  
(堺市 危機管理室 防災課)
- ◇ 第14回淡海の川づくりフォーラムを開催しました  
(滋賀県 土木交通部 流域政策局)

ページ

河川紹介

- 2 瀬田川（滋賀県大津市） …… (A)

特集

## 「流域で取り組む治水対策」

- 3 流域治水の実践に向けた奈良の取り組み …… (B)  
奈良県 県土マネジメント部 河川整備課

- 5 由良川流域（福知山市域）における …… (C)  
総合的な治水対策について  
京都府 建設交通部 河川課

トピックス

- 7 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりの取り組み …… (D)  
～アユがのぼる街、高槻～  
大阪府 都市整備部 茨木土木事務所

- 9 区別防災マップのリニューアルと …… (E)  
民間事業者と連携した市民周知について  
堺市 危機管理室 防災課

- 10 第14回淡海の川づくりフォーラムを開催しました …… (F)  
滋賀県 土木交通部 流域政策局



写真提供:びわ湖大津観光協会

ししとびけいこく  
鹿跳溪谷 (瀬田川)

①

瀬田川

わが国最大の湖である琵琶湖には、大小約四五〇本の河川が流れ込んでいますが、琵琶湖から流れ出る河川は瀬田川一つのみで、滋賀県内では瀬田川、京都府内では宇治川となり、木津川・桂川との三川合流後は淀川と名前を変えて大阪湾に注いでいます。

表紙写真の鹿跳溪谷(ししとびけいこく)は、瀬田川景勝地の一つで、川幅が狭まり水流が激しくなると岩に当たり水しぶきをあげる様子が見られます。鹿跳の名称は急流を前に渡りあぐねていた空海を白鹿が背に乗せて川中の岩を飛び渡ったという伝説に由来しています。



※図中 A ~ F は記事の位置を示しています。



写真提供:滋賀県

瀬田川のラフティング



写真提供:滋賀県

瀬田川洗堰

# ～特集「流域で取り組む治水対策」～

## 流域治水の実践に向けた奈良県の取り組み

奈良県 県土マネジメント部 河川整備課

### 1. 大和川流域における過去の水害実績

奈良盆地の大和川は 156 本の多数の支川が集まり、盆地内で合流しながら 1 本の流れとなり、生駒・金剛山地に挟まれた「亀の瀬」を抜け、大阪へ流れる河川であり、水害が発生しやすい特性を有しています。そのため、特に支川が合流する地域で何度も浸水被害が発生しています。

大和川流域における戦後最大洪水は、昭和 57 年に発生した台風 10 号および台風 9 号崩れの低気圧による豪雨の大水害です。この水害により、浸水面積 2,396ha、全壊半壊 256 棟、床上浸水 2,983 戸、床下浸水 7,387 戸、被害額約 403 億円（※水害統計年報より）という流域の広い範囲で大きな被害が発生しました。

### 2. 水害被害の軽減に向けた県と関係市町村のこれまでの取り組み

昭和 57 年の大水害を契機として、国・県・関係市町村が連携し、流域全体で水害に強いまちづくりを進めるため、河道の整備などの治水対策とともに、校庭貯留やため池治水利用等により雨水を一時的に貯留する流域対策を加えた総合治水対策に取り組んできました。

その後、小規模開発の増加、ため池の減少による流域の保水力の低下、浸水被害の恐れのある区域における市街化区域編入等の課題に対応するため、河川改修などによる「ながす対策」（治水対策）、ため池貯留や雨水流域貯留浸透施設等の「ためる対策」（流域対策）、市街化編入を抑制する区域を指定する「ひかえる対策」（土地利用対策）からなる「大和川流域における総合治水の推進に関する条例」を平成 29 年に公布、平成 30 年に施行しました。この条例は流域治水関連法に先立ち土地利用対策を位置づけた画期的なものとなっています。大和川は亀の瀬により河川の流下能力に制限があることから、内水を河川に排水するポンプ排水施設の設置を制限しています。そのため、逆流防止樋門が閉鎖される度に内水被害が発生しており、平成 29 年 10 月の台風 21 号の出水では、河川からの溢水とともに広い範囲で内水被害が発生しました。これを契機として新たな「ためる対策」として、内水被害解消の効果が期待できる適地に貯留施設等を整備する「奈良県平成緊急内水対策事業」を平成 30 年から着手をしています。

当初概ね 10 年に一度の大雨による浸水被害の解消を目標に重点地区を選定していましたが、令和元年東日本台風では、阿武隈川や千曲川の流域で地域によっては 48 時間降水量が 400mm を超え 100 年に一度を超える確率の降水量があったことから、100 年に一度の大雨にも耐えられるよう、対策規模のグレードアップにも取り組んでいます。

### 3. 流域治水関連法施行後初の特定都市河川の指定

近年、全国各地で激甚化・頻発化している水災害に対応するため、流域全体であらゆる関係者が協働して取り組む流域治水の実効性を高めるため、「特定都市河川浸水被害対策法」等が改正され、令和 3 年 11 月に施行されました。この法改正によりハード整備の加速に加え、国・都道府県・市町村・企業等のあらゆる関係者の協働で土地利用規制や流出抑制対策等に取り組むことが進められることになりました。県内の大和川が流域治水に取り組むことに関係者の合意を得られたことから、法律改正後に全国で初めて特定都市河川に指定（令和 3 年 12 月 24 日）されました（図 1）。

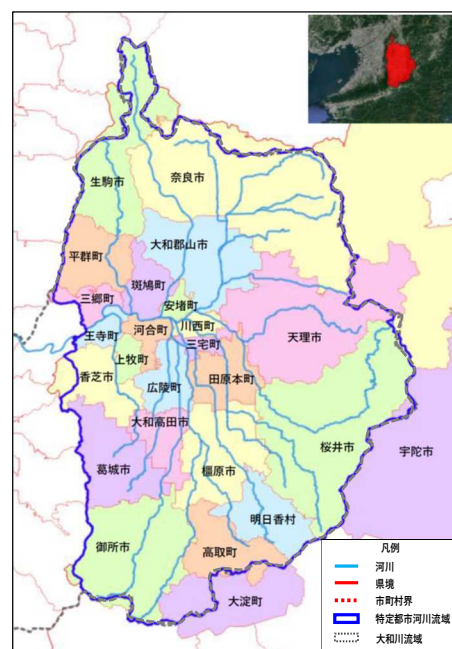


図 1 大和川特定都市河川流域位置図

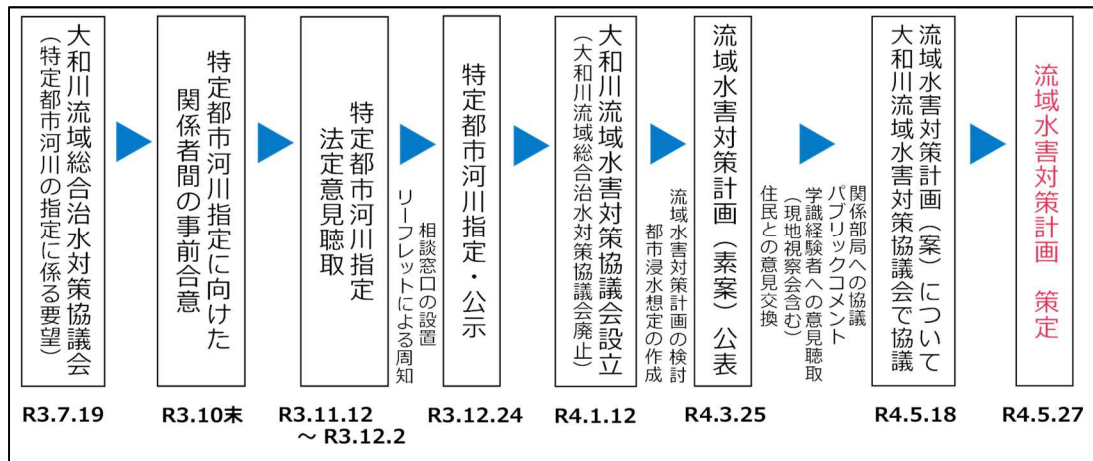


図2 大和川流域における特定都市河川に係る取り組み経過

特定都市河川の指定により、雨水貯留浸透施設の整備にかかる国からの補助率が3分の1から2分の1に拡充され、流域の市町が奈良県平成緊急内水対策事業の一層の推進が期待されます。また、水害リスクを踏まえた土地の保全や土地利用の規制を推進するための制度も創設されました。今後、あらゆる関係者との流域対策によりさらに流域治水を推進します。指定後の最初の取り組みとして、流域対策を効果的かつ円滑な実施を図るため、令和4年1月12日に、大和川流域水害対策協議会(写真1)が設立されました。

その後、総合的かつ多層的な流域治水を推進するための検討を行い、住民との意見交換会(写真2)や現地視察会(写真3)を経て、令和4年5月27日に「大和川流域水害対策計画」を近畿地方整備局長、奈良県知事及び流域内25市町村の長が共同して策定しました(図2)。

大和川流域水害対策計画の主なポイントを以下に示します。なお、計画の期間は概ね20年としています。

- ① 流域全体では、昭和57年8月降雨に対し、大和川・佐保川の堤防決壊による壊滅的な被害の解消、一部支川氾濫や内水による浸水が想定される区域においても住民の安全を確保
- ② 重点地区では概ね100年に1回の確率で発生しうる規模の降雨に対し、内水による浸水被害を解消
- ③ 想定し得る最大規模までのあらゆる水害リスクを可能な限り想定し、人命を守り、経済被害の軽減に取り組む

#### 4. 今後の取り組み

災害に日本一強い奈良県を目指して、流域水害対策計画に基づく河川整備の更なる推進や水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくりの推進など、大和川の流域治水対策を強力に進めて参ります。



写真1 大和川流域水害対策協議会



写真2 住民意見交換会



写真3 現地視察会

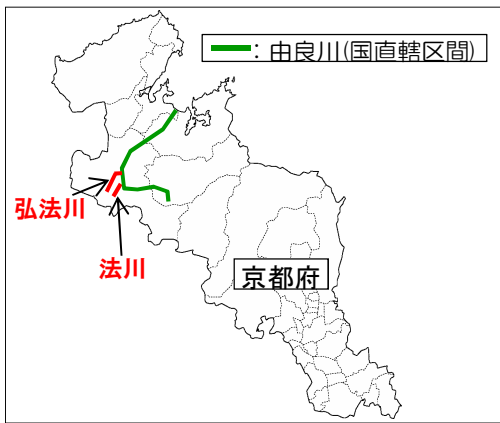
# ～特集「流域で取り組む治水対策」～

## 由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策について

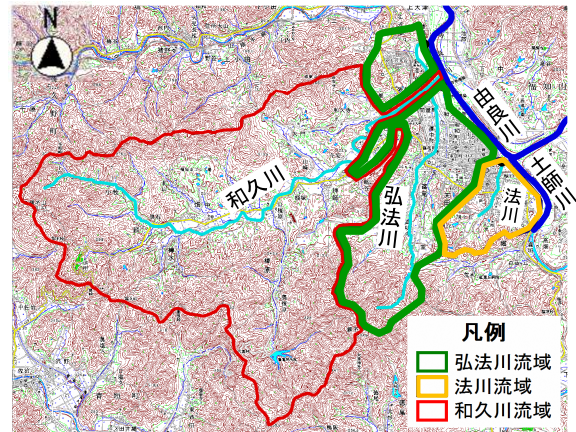
京都府 建設交通部 河川課

### ○ 弘法川及び法川について

弘法川は、福知山市街部の西部を北流した後、和久川の下を横過し、国管理の由良川に合流する流域面積 11.1km<sup>2</sup>、流路延長 6.2kmの一級河川です。また、法川は、同市街部の南部を流下し由良川に合流する流域面積3.3km<sup>2</sup>、流路延長1.5kmの一級河川です。



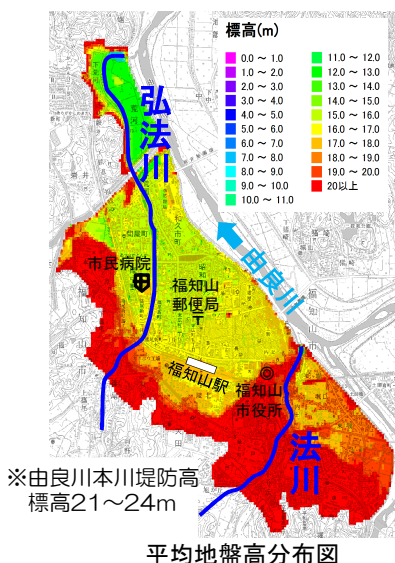
位置図



流域図

### ○ 弘法川及び法川の流域の特徴

流域である福知山市街部は、山地と由良川本川の間には挟まれた低平地に位置しており、地盤高が由良川の堤防高より低くなっています。また、昭和50年代以降、水田や山地等における宅地化が急速に進み、市街化が進展した一方、流域が有していた保水能力が低下しています。平成16年台風第23号、平成25年台風第18号の際には、浸水被害が発生しており、その後、福知山観測所において観測開始以来最大の335mm/2日を記録した平成26年8月豪雨の際には、福知山市全域で浸水家屋が4,500戸に及び甚大な浸水被害が発生しています。



平均地盤高分布図



平成26年8月豪雨浸水範囲(市街部)



平成26年8月豪雨被災状況



平成26年8月豪雨被災状況

## ○ 治水対策協議会の設立

甚大な浸水被害をもたらした平成26年8月豪雨を踏まえ、国・府・市が連携・調整を図り、河川と下水道が一体となった総合的な治水対策を検討する場として「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」が設立されました。協議会では、3者が個別に事業を行うのではなく、連携して概ね5年程度で平成26年8月豪雨と同程度の降雨が発生した場合での床上浸水の概ね解消を整備目標として、対策をとりまとめ、「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策」を策定しました。



第1回協議会（現地調査）状況



第3回協議会状況

## ○ 総合的な治水対策

協議会で策定した対策をもとに、右表のように各機関で役割分担して対策を実施する事により、早期の対策実施と効果発現を可能にしました。また、河川管理者が主体となって行う河川整備だけでなく、流域内の関係者（行政・開発者・地元）が連携し、治水対策を実施する「流域治水」の考えに沿った対策の推進にも繋がりました。

総合的な治水対策と実施主体

	区分	現況	対策案	実施主体
ハード対策	排水ポンプ	・排水機場：27m <sup>3</sup> /s（常設22、救急5） ・和久市ポンプ：8.4m <sup>3</sup> /s	・排水機場の新設、増強：27m <sup>3</sup> /s ・排水機場の新設：11m <sup>3</sup> /s ・排水ポンプ車ビット新設：11m <sup>3</sup> /s相当 ・排水機場機能高度化（耐水化他） ・和久市ポンプ場増強（耐水化等含む）：1m <sup>3</sup> /s	国土交通省 京都府 国土交通省 国土交通省 福知山市
	河川改修	・弘法川 L=1.9km ・法川 L=0.2km	・弘法川 L=3.0km ・法川 L=1.4km	京都府 京都府
	貯留施設等	・貯留管 1.8万m <sup>3</sup> ・調整池等 8万m <sup>3</sup>	・貯留施設新設：1万m <sup>3</sup> ・調節池：31万m <sup>3</sup> ・調整池及びため池改良等：21万m <sup>3</sup> ・既設下水道管増強	福知山市 京都府 福知山市 福知山市
ソフト対策		○各戸、事業所等の耐水化 ○保水力の回復・増進 ・各戸における貯留浸透施設等 ・開発に伴う調整池設置等の促進 ・ため池の保全 ○その他 ・水位計及びCCTVカメラの設置による監視体制の強化 ・内水ハザードマップ作成等による避難警戒意識の啓発	福知山市・地元  福知山市 京都府 福知山市  京都府・福知山市 福知山市	

【国による排水機場整備】



【京都府による河川整備】



【福知山市による調整池整備】



## ○ 今後に向けて

激甚化・頻発化している水災害に対しては、河川改修だけでなく、流域内のあらゆる関係者が協働し、対策を実施する「流域治水」の取組が必要です。取組においては、関係機関同士の連携が極めて重要であり、本事例のように河川管理者を含む流域内のあらゆる関係者が協働・参画できるような仕組みを設け、さらに発展させていくことが今後ますます有効になると考えています。今回の事例を参考に、より一層「流域治水」の推進に資する取組に努め、安全度を向上させて参ります。

～トピックス～

# 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりの取組み

～アユがのぼる街、高槻～

大阪府 都市整備部 茨木土木事務所

- 一級河川「芥川(あくたがわ)」は、大阪府高槻市の中心を南北に流れ、淀川に注ぎます。豊かな自然に囲まれており、生態系の保全や清掃活動のほか、川の魅力を高める様々な取組みにより、天然のアユが遡上します。
- 芥川倶楽部は「芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」の愛称。平成17年に設立し、市民団体と行政(大阪府、高槻市)から構成されており、芥川の保全活動に取り組んでいます。今般、これまでの活動が評価され、令和4年度の国交省「まちづくりアワード(功労部門)」で国土交通大臣表彰を受けました。



第1回まちづくりアワード表彰式



功労部門で国交大臣表彰受賞

## 水辺の楽校

総合学習の時間を使って、流域の小学生に河川の治水や生態系、安全な利用法を教えています。教室での事前学習・川での実践・成果発表の3部構成。



教室での事前学習



川での実践



成果発表

- 芥川を「いい川」にしたい。いい川にはひとが集まります。いい川はその街にとって不可欠な存在。流域の皆さんが愛着を持ち、自分の川と思っていたくれるような「いい川」をめざしています。

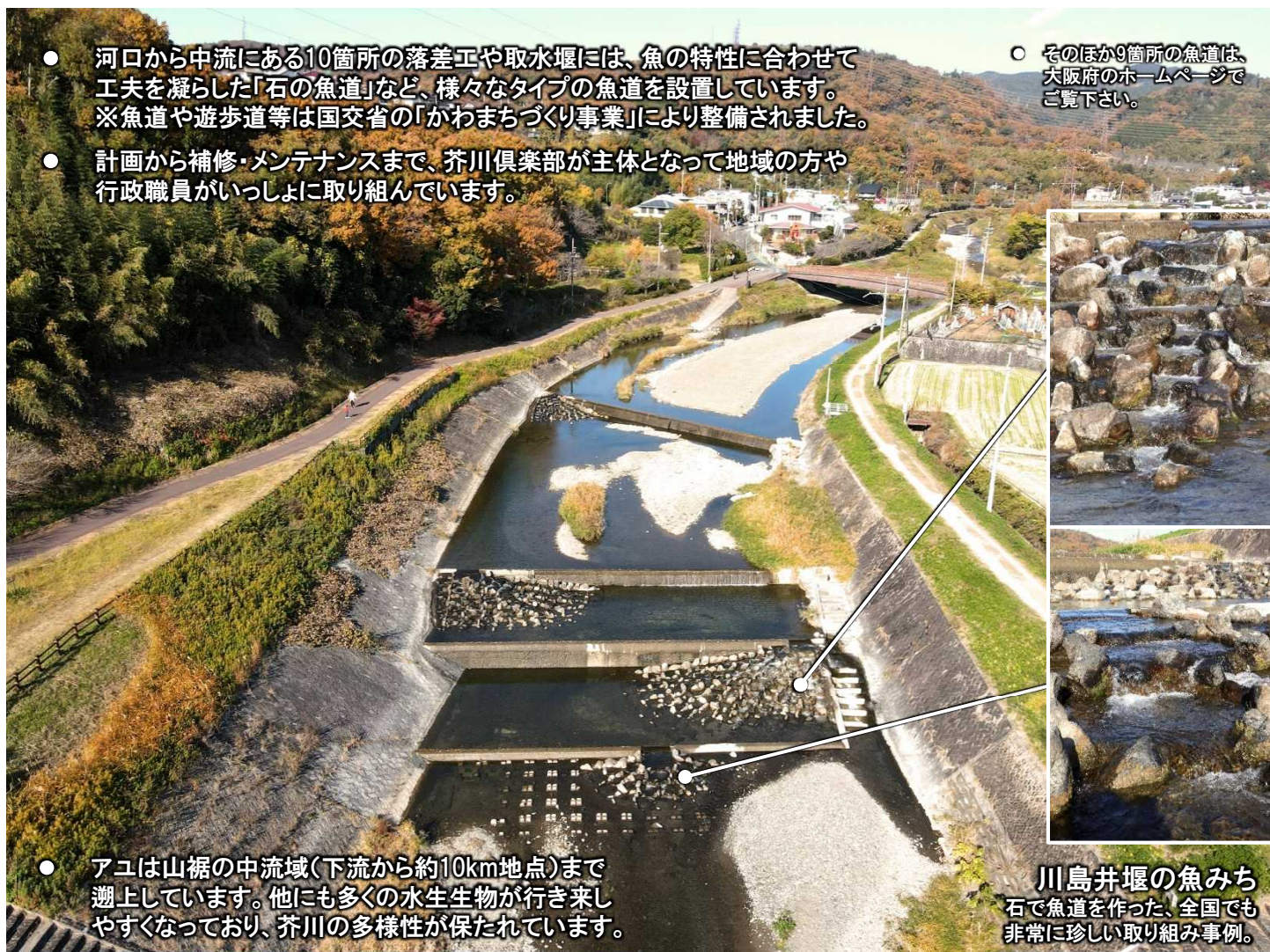


こいのぼりフェスタ1000  
芥川河川敷の桜堤公園で毎年ゴールデンウィークに1000匹のこいのぼりを掲揚する市民イベント。



- 河口から中流にある10箇所の落差工や取水堰には、魚の特性に合わせて工夫を凝らした「石の魚道」など、様々なタイプの魚道を設置しています。  
※魚道や遊歩道等は国交省の「かわまちづくり事業」により整備されました。
- 計画から補修・メンテナンスまで、芥川倶楽部が主体となって地域の方や行政職員がいっしょに取り組んでいます。

○ そのほか9箇所の魚道は、大阪府のホームページでご覧下さい。



**川島井堰の魚みち**  
石で魚道を作った、全国でも非常に珍しい取り組み事例。

- アユは山裾の中流域(下流から約10km地点)まで遡上しています。他にも多くの水生生物が行き来しやすくなっており、芥川の多様性が保たれています。



**魚道の補修**  
洪水などで石の魚道が損傷する度に、市民と行政が協働で補修。



**おとなのための魚とり講座**  
魚のとり方を保護者に伝授し、それを保護者が子どもに教えることで家族のつながりを大切にする、毎年人気のイベント。



**ミズヒマワリ駆除**  
特定外来生物ミズヒマワリの生息域をパトロール。コロニーを見つけて根こそぎ除去。



**淀川・芥川クリーンアップ大作戦**  
淀川管内河川レンジャーと芥川倶楽部が共催。数百人の市民が参加する清掃イベント。

ホームページは  
コチラ↓



大阪府



高槻市

- 河川の保全と利用の両面で、活動は多岐にわたります。また、市民と行政の連携は不可欠であり、長年良い関係を維持し、協働できています。こうして川の魅力をつくり、維持しています。
- 河川空間はその生態系を含めて街の一部です。芥川が今後も人々に愛され、街の資源、街のシンボルであり続けられるよう、取り組みを進めてまいります。

# 区別防災マップのリニューアルと民間事業者と連携した市民周知について

堺市 危機管理室 防災課

近年の激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等を踏まえ、「区別防災マップ」をわかりやすく、より活用してもらうため、平成29年3月に作成以来、5年ぶりにリニューアルしました。リニューアルにあたり、従来からの全戸配布から、民間事業者との連携などで市民に周知を図っています。

## 区別防災マップをリニューアルしました☆

市民の皆さんの災害への備えのため、まず日頃から想定される災害を知り、いざという時の避難などを考えるため、「知る」、「考える」、「備える」ための情報をわかりやすく作成した資料となっています。

また、新しい「区別防災マップ」では今までになかったキャラクターデザインを使用し、見やすい防災マップにすることで、防災啓発に関する紙面の充実を図りました。



## 民間事業者と連携した周知☆

従来から防災マップを配布してきた市役所市政情報センターや各区役所市政情報コーナーに加え、郵便局、コンビニエンスストア、鉄道会社等の民間事業者とも連携し、これまで以上に市民への周知に取り組んでいます。

郵便局



コンビニエンスストア



# 第14回<sup>おうみ</sup>淡海の川づくりフォーラムを開催しました

滋賀県 土木交通部 流域政策局 広域河川政策室  
(淡海の川づくりフォーラム実行委員会事務局)

令和4年8月27日(土)に「第14回淡海の川づくりフォーラム」を開催しました(主催:淡海の川づくりフォーラム実行委員会/滋賀県、共催:マザーレイクゴールズ推進協議会、後援:滋賀県河港・砂防協会)。

新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、従来通りの会場での参加と Zoom を活用したオンラインでの参加を組み合わせた、いわゆる「ハイブリッド方式」により開催しました。

一般参加者も含め、川や琵琶湖、水辺を愛する約 80 名の方々により、オンラインの枠を超えた熱い議論と交流がなされました。

## ■淡海の川づくりフォーラムとは? ～「よいとこ探し」で元気になろう!～

淡海の川づくりフォーラムは、流域治水条例第34条に基づく県民相互連携の取り組みであり、川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、“川や琵琶湖、水辺と共生する暮らし”、“川や琵琶湖、水辺と私たちのいい関係”について議論を深める公開選考方式のワークショップです。

受賞団体を決めること(順位付け)はあくまでも手段であって、議論と交流を通じて、お互いの活動の「よいとこ探し」をして、誉めあい、元気になることが目的です。

14 回目となる今回は、県内外から 10 団体の参加があり、小学校や大学生と若い方々から、地域に根差し長年活動されている方々まで、幅広い世代から多岐にわたる取り組みを発表していただきました。

### 全体発表

参加団体が一堂に会して、日頃の取り組みを発表します。



### テーブル選考 (午前)

3つのグループに分かれ、全体発表で語り切れなかった部分の説明や質疑を通じて、それぞれの活動について理解を深めます。

### 全体討論 (午後)

再び参加団体が一堂に会して、“川や琵琶湖、水辺と私たちの関係”について議論を深めていきます。



「淡海の川づくりフォーラム」の YouTube 紹介動画はこちら!

→ <https://youtu.be/iNLIURcF10A>

※マザーレイクゴールズ channel 「2分で解説 淡海の川づくりフォーラム」より



## ■フォーラムの様子

### ★全体発表

参加団体が日頃の取組を発表します。1 団体 3 分間という短い時間でいかにアピールするか、工夫のしどころです。

3 分経過すると終了のベルが容赦なく鳴らされますが、それも会場を盛り上げるアクセントになっています。



## ★テーブル選考

3つのテーブルに分かれ、全体発表では語りきれなかった活動や思いをお互いに語り合います。発表者と選考員とで議論を深め、各テーブル“イチ押し”の活動を選考します。

## ★ポスター選考

昼食休憩の後、会場に掲示した各団体の活動をまとめたポスターの前で参加者に活動をPRします。オンライン参加の団体はパソコンを通じてPRしました。

参加者は応援したいと思った活動に「応援メッセージカード」を贈ります。

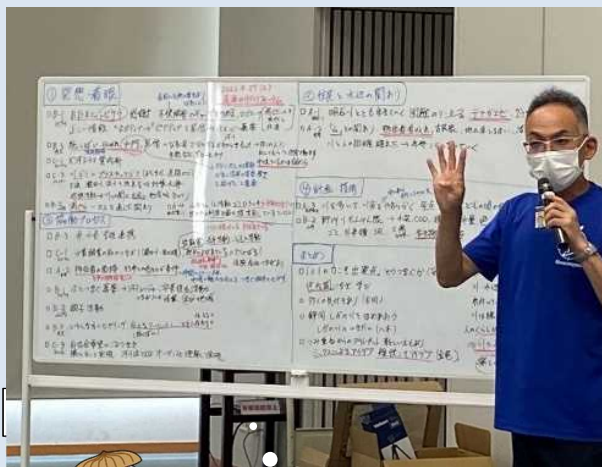
ポスター選考には三日月知事にもご出席いただき、各団体と交流されました。

## ★全体討論

全ての団体が再度発表し、その後全団体に対する質疑応答が行われました。そして、総合コーディネーター・選考員を中心に、公開選考によりグランプリ等を決定しました。

選考のポイントである「発想・着眼」「関わり」「プロセス」「計画・技術」の視点を中心に、選考員や参加者と議論が交わされました。

全体討論の様子は「グラフィックファシリテーション」「ホワイトボードレコーディング」により、リアルタイムで議論の見える化を行い、Zoomで共有しました。



選考のポイントに着目した各団体の活動の整理

議論の見える化による場の活性化、相互理解のうながし

全体討論と並行して討論内容をイラスト化していたものを、フォーラム終了後に整理して1枚にまとめたものです。



## ■選考結果 ～今年のキラリ！はこの方々！～

### グランプリ

グランプリには、水門について学ぶ紙芝居を作成された「滋賀県立大学 瀧研究室」のみなさんが選考されました。

全体発表では役になりきって紙芝居の実演をされました。小学生でも琵琶湖とその周辺地域に関する自然環境について楽しく学べ、活動団体や河川管理者が活用できることが評価されました。

### 準グランプリ

準グランプリには、神戸市の明石川で希少種のヒラテテナガエビの調査や外来種の駆除など環境保全を行っている、「玉ーアクアリウム」のみなさんが選ばれました。

先輩や仲間や地域の人たち、神戸市環境局の方々、そして明石川と協力して助け合って活動を続けておられます。

### 山紫水明賞（滋賀県河港・砂防協会賞）

「それいけ、野洲川探検隊」を結成し、野洲川流域の自然、文化、暮らし、産業について学ばれている「山内エコクラブ」のみなさんが山紫水明賞（滋賀県河港・砂防協会賞）を受賞されました。

野洲川の伏流水を使用している酒蔵の見学と生き物の気持ちになって考えたことについて発表されました。

### マザーレイクゴールズ賞

姉川の上流域を守り水源の里を保全して、豊富な水資源を確保出来るように地域ぐるみで様々な活動をされている「水源の里まいばら 再生可能エネルギー推進協議会」のみなさんにマザーレイクゴールズ賞が贈られました。

山林の手入れや植林などで次世代に地域を繋げられるようにするとともに、人口減少を補うために空き家を改修し、移住者を増やす活動をされています。

### 応援の花咲いた賞

応援の花咲いた賞は、ポスター選考で最も多くの応援メッセージを集めた団体に贈られます。不快害虫と呼ばれるトビケラの価値を伝える活動をされている「おおきにトビケラさんプロジェクト」のみなさんが受賞されました。人に害を与えず、水をきれいにしてくれるトビケラの嫌なイメージを良いイメージに変えたいという熱い想いを訴えられました。

## がんばれ！すいもん 学生協働でつくる紙芝居

- 目的 琵琶湖への愛着と関心を育む
- 活動への参加者
 

滋賀県立大学 瀧研究室	河川管理者 県庁職員	博物館職員
----------------	---------------	-------
- 活動内容 紙芝居の作成
 

がんばれ！すいもん  
-びわこからの水を守るはたらきも-



水門・ポンプの役割を知る

治水・利水を学べる



自然・文化も学べる



愉快的な仲間達が楽しくご案内








滋賀県立大学 瀧研究室

グランプリ・準グランプリ団体の活動をまとめたポスターです  
淡海の川づくりフォーラム 県ホームページに全参加団体のポスターを掲載しています  
(13 ページの QR コードからご覧ください)


## 明石川と共に生きるヒラテテナガエビ

ヒラテテナガエビについて




ヒラテテナガエビは、明石川に生息する希少種です。その生態や生活環境について詳しく紹介します。

希少種調査の振り返り




調査の結果、ヒラテテナガエビの生息環境は悪化しています。今後の対策について考えます。

ヒラテテナガエビの明石川




明石川の現状とヒラテテナガエビの生息環境の悪化について詳しく紹介します。

『ヒラテテナガエビ』の現状




ヒラテテナガエビの生息環境の悪化は、明石川の生態系に大きな影響を与えています。

『ヒラテテナガエビ』の現状



ヒラテテナガエビの生息環境の悪化は、明石川の生態系に大きな影響を与えています。

『ヒラテテナガエビ』の現状



ヒラテテナガエビの生息環境の悪化は、明石川の生態系に大きな影響を与えています。

## ■発表団体と受賞一覧

テーブル No.	団体名 (受賞名)	活動内容 (活動地域等)
A-1	玉一アクアリウム (準グランプリ) (明石川博士をたくさん生みま賞)	明石川の環境保全活動 (明石川・神戸市西区玉津町)
A-2	一般社団法人 水源の里まいばら 再生可能エネルギー推進協議会 (マザーレイクゴールズ賞) (にぎわう水源の里づくり賞)	姉川の上流域を守り水源の里を保全して、豊富な水資源を確保出来るように地域ぐるみで、様々な活動をして維持継続を目指す (姉川(上流域)・米原市甲賀 甲賀集落)
A-3	小さな自然再生ネットワーク (川に親しむ原点を取り戻しま賞)	中ノ井川や蛇が池を中心に親水、自然観察のエリアを拡大する (中ノ井川・栗東市 大宝神社付近)
A-4	新大宮川を美しくする会 (一人の一歩から始まるで賞)	新大宮川とその周辺の環境・美化清掃活動 (大宮川、足洗川 <small>あしあらい</small> の下流部)
B-1	おおきにトビケラさんプロジェクト (応援の花咲いた賞) (トビケラに罪はない 意識変革功労賞)	環境イベントへの参加や、イベント・展示の開催を通じて、知る機会のある場を作る 漫画冊子やグッズを制作し、身近なものから意識を持たせる (宇治川・京都市)
B-2	山内エコクラブ (山紫水明賞) (楽しい川をもっと探検しま賞)	野洲川エコスクール(野洲川全体の観察、ドローン映像による川の蛇行・土地利用の学習、水質や生態の調査、自作ろ過機による地下水がきれいになる仕組みの確認、酒蔵(伏流水を使った産業)の見学) (野洲川・甲賀市、湖南市、野洲市、守山市)
B-3	滋賀県立大学 瀧研究室 (グランプリ) (水門から水辺に導きま賞)	紙芝居の作成 (琵琶湖)
C-1	NPO法人 瀬田川リバプレ隊 (楽しみ広がる川活動賞)	河川のゴミ拾い、草刈り、植栽、水質調査 (瀬田川、高橋川)
C-2	河川管理パートナーの会 (川ごみ問題に向き合いま賞)	河川巡視活動を通じた河川管理の支援と、住民協働による川づくりへの参加・協力など (長沢川、狼川 <small>おおかみ</small> 、千丈川 <small>せんじょう</small> ・大津市千町、大萱付近他)
C-3	UNIT エー (LIFE LINES PRODUCT) (ワクワクを生む水辺で賞)	湖上の台船を活用した湖上およびパークフロントを活用した『湖上 MARKET』の企画・運営 (琵琶湖・大津市におの浜2丁目)



淡海の川づくりフォーラムは川と水辺を愛する人の交流の場です。  
ぜひ、次回のご参加をお待ちしています！

★ 淡海の川づくりフォーラムホームページ ★

【県 HP】 <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/19480.html>

【facebook】 <https://www.facebook.com/ShigaRiverForum>

県 HP



facebook



編集後記 各自治体のご担当者ならびに記事提供部局におかれましては、ご協力いただきありがとうございました。  
本紙を通じて、多くの方々に川の魅力を感じていただければ幸いです。編集担当 滋賀県 土木交通部 流域政策局

編集・発刊：奈良県 京都府 大阪府 堺市 福井県 三重県 京都市 大阪市 兵庫県 神戸市  
和歌山県 滋賀県 国土交通省近畿地方整備局